

残る
消えゆく



ミョウトウジ坂
※河岸段丘に沿うように坂の跡が残っています

地名のはなし

十二

「ミョウトウジ坂」のはなし

太田町の「ひじか ごとうきょう飛鹿跨道橋」の東には、河岸段丘を登る「ミョウトウジ坂」がありました。

地元の人からは、「ミョウトウジ坂は、人が一人通れるぐらいの道幅の狭い坂道で、太田町北町辺りに住む人たちが駅の北側に向かうための近道として、終戦直後まで利用されていました。また、坂のふもと辺りは『アンシタ』と呼ばれていて、ミョウトウジと合わせて考えてみると、かつてこの辺りに寺院や庵(いおり)があったのではないのでしょうか」と語ってくれました。